

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2024年度 大学院入学試験問題

教育人間科学研究科

心理学専攻 博士後期課程 <一般入試>

外国語(英語)

問題2 以下の日本語を英語に訳しなさい(注は除く)。

自然は自ら運動するものなのだから、自然の外部の動力因を措定して、自然の内部で起こる変化を説明しようとするのは、非論理的なことです。たしかに、まだ自然が存在していなかった時代があったのだとしたら、自然が存在するようにするためには、自然の外部の動力因が必要であったことになるでしょうが、アリストテレス (Aristotle) は、そのような時代はなかったと固持している点で、『ティマイオス (Timeaeus)』に従っています

注: 『ティマイオス (Timeaeus)』は、プラトンの後期対話篇の一つである。

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2024年度 大学院入学試験問題

教育人間科学研究科

心理学専攻 博士後期課程 <一般入試>

統計学

以下の問(1)~(8)の中から5問を選び、問番号を明示した上で、それぞれ回答しなさい。

- (1) 偽陰性とは何か、例を挙げながら説明しなさい。
- (2) カイ二乗検定とはどのような分析と言えるか、概念的に説明しなさい(数式を用いる必要はありません)。また、心理学ではどのような時に用いられるか、具体的に説明しなさい。
- (3) 2つの連続変量の間相関係数を算出するにあたって、散布図を作成することの意義を2つ挙げなさい。
- (4) 参加者間計画と比べて、参加者内計画で研究を行うことのメリットを2つ挙げ、具体的に説明しなさい。
- (5) 効果量とは何か、 p 値との違いに着目しながら説明しなさい。
- (6) 主成分分析および因子分析について、それぞれの違いに注目して説明しなさい。
- (7) 中心極限定理について、具体例を示しながら説明しなさい。
- (8) 分散分析と回帰分析の関係について説明しなさい。